

グアム 紹介

グアムは、日本から南東に約2500km、飛行機で3時間と少々のところにある北マリアナ諸島の南部に位置する淡路島程度の島です。

海洋性亜熱帯気候で年間平均気温は26℃のいわゆる常夏の島です。雨季（6月～11月）と乾季（12月～5月）に大別でき、雨季には日に数回のスコールが来ます。

アメリカ合衆国の準州扱いで、行政はカリフォルニア州法が適用されています。スペイン、そしてアメリカ合衆国の統治を経て、太平洋戦争開戦直後に日本軍の占領下に入り、1944年7月21日の米軍上陸で壮絶な日米両軍の攻防戦が繰り広げられました。その結果、日本軍は「玉砕」、米軍占領後、米軍政を経て今日に至っています。グアムのジャングルで28年間潜伏生活を送った元日本兵の横井庄一さんは有名です。

1970年代から急激に観光開発され、日本からの観光客が最も多いです。人口は約16万人で、先住チャモロ人のほかフィリピン人も多く住んでいます。日本人は約4000名ほど在住しています。在沖縄米海兵隊のグアム移転は当初予定より遅れるとの見通しが発表されましたが、いずれは移転して来るでしょう。それに伴い、インフラ整備等で日本企業が参入し、日本人の数が増える事も予想されます。



恋人岬



平和慰霊記念(祈念)公園



ココス島



ラッセストーン公園

(上4枚の写真はグアム政府観光局ホームページより)

グアム日本人学校

【歴史】

グアム日本人学校の前身としてのグアム補習授業校は、1975年に日本語補習校として開校し、鳥取県出身の佐藤真一氏が現地採用教員として着任した歴史があります。

1988年に、日本人会総会で日本人学校設立が決議され、日本人学校設立準備委員会が発足しました。1989年4月1日、日本政府が日本人学校として設立認可し、この時点で補習授業校と日本人学校に分離しました。そして、同月派遣教員が着任、開校式及び第1回入学式を挙行しました。また、1990年3月に日本人学校校舎竣工式が行われ、第2回入学式は新校舎で行われました。現在は、この校舎を補習授業校と一緒に使っています。

【学校の様子】

昨年、創立満20周年の節目を迎えました。現在、幼稚部17名、小学部51名、中学部15名が在籍しています。4月の全校遠足には小中学部が一緒に行くので、中学部のお兄さんお姉さんが、親切に小学部低学年の世話をしてくれる姿が見られます。

5月と9月には水泳教室が行われます。本校には、体育館とプールがありません。だから、水泳教室は地域のコンドミニウムのプールを借りて実施します。

6月に行われる運動会は、炎天下での練習を繰り返し、幼・小・中学部が協力してとても素晴らしい内容の演技を繰り広げます。

9月下旬には学習発表会があり、夏休み明けから準備や練習に取り組んだ成果を発表します。体育館がないので、ホテルのステージを借りて開催します。学校から離れている場所でリハーサルや本番をするので諸準備が大変ですが、先生と子どもたちが協力して創り上げます。

10月には修学旅行があり、小学部6年生と中学部2年生が、日本へ行きます。グアム生まれの子どももいるので、修学旅行はとても楽しみな行事の一つです。

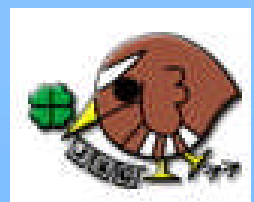
グアム日本人学校の子どもたちは、ふだんから英語を使い慣れている子が多いので、とても英語が得意です。休み時間などでも、友だち同士で英語での会話が飛び交う事がよくあります。小学部1年生から中学部3年生まで、週3時間の英語の授業があり、一生懸命勉強しています。

グアム日本人学校の様子はホームページ (<http://www.jcguam.org/jsj/top/>) にも掲載されていますのでご訪問下さい。



学習発表会 中学部演劇「権蔵太鼓」

グアム日本人学校のマスコット→「ココバード」です。



グアム日本人学校ロゴマーク